

全力で受講をオススメしたい

【三好春樹 氏】

生活とリハビリ研究所代表。

生活リハビリという言葉を知なければ、

三好氏の研修を受講することを強くオススメする。

新人時代、介護の在り方に悩んでいた頃は、

なんとなく立ち寄ったブックオフでなんとなく三好氏の本を手にとった。

立ち読みで済ますつもりが、面白すぎてそのまま購入。

それ以来、三好氏のファンになり、著書を買いきり講座に通いつめる。

講座を受講するたびに元気が湧いて、介護をがんばれた。

ぼくは三好氏に出会わなければ、お年寄りを訓練することに

特に疑問を感じないリハ職員になっていた可能性がある。おそろしい。

ぼくの介護観の根底を育ててくれた方。

【高口光子 氏】

介護老人保健施設星のしずく看・介護部長。

ぼくの上司の恩師。かつよくて凛々しいオーラをまとっている。

研修では介護観や人材育成をテーマに、とにかく喋り倒してくれる。

セミナーが終わると感動する映画をみたような気持ちになり、

しばらくその場から動きたくなくなる。

語られるストレートな言葉には強さがあり、つぎつぎと頭に染みわたる。

こうの方が介護業界にいたことがすごく心強く感じる。

以前、高口氏が所属する施設に実習にいかせてもらったとき、

ちょっとお話をしただけなのに心の底まで見通され衝撃をうけた。

ぼくはお年寄りが好きなんだと心底感じさせてもらい、

心新たに現場に立つことができた。

勇気と力強さをくれる方。

【青山幸広 氏】

ケア・プロデュースRX組代表。

すぐれた移乗介助技術スーパートランスを世に広めた方。

とかく技術に注目されがちだけど、

技術以上に心を大切にしているあったかい方。

方言交じりのお話はユーモラスで親しみがある。

研修を受講生はリピーターが多く、和気あいあいとした雰囲気。

初心者だったぼくもあたたく迎え入れてくれた。

青山氏の技術を現場で実践しはじめてから

腰痛が激減して移乗介助が大好きになった。

青山氏の技術の極めるのは果てしなく遠い道で

ぼくは中途半場に出発してしまっただけど、

いつか再びその道に立つことがあれば、青山氏から学びたい。

ぼくの介護技術の基礎は、

青山氏が育ててくれた。

【神門経之 氏】

キネステティクス®トレーナー。

介護のやさしさ、あたたくさを骨の髄まで教えてくれた方。

人との触れ合いがこんなにもすごい力を秘めていたんだって、

すごい宝物をプレゼントされた気持ちだった。

それと同時に、これまで自分がしてきた介護を深く反省した。

「利用者さんをテクニックの対象者にしていませんか？」

テクニックに囚われていたぼくの目をすっかり覚ましてもらい、

利用者さんの心に気を配る大切さを説いてくれた。

3日間の講座はあっという間に過ぎて、

まだまだ学び足りず、その後何度も同様の研修に足を運んだ。

研修を受講生の学びの状況に応じて毎回少しずつ姿を変える。

一期一会の時間がたまらなく楽しい。

「ぼくは、こんなケアがしたかったんだ」「この心地よさをみんなに広めていきたい」

神門氏に出会わなければ、ぼくがセミナー活動をやることはなかったと思う。

その後の人生が変わるような、心動く時間を体験されたい方は、ぜひ。

【坂本宗久 氏】

生活介護研究所代表。

ご自身で介護講座を主催されているプロ講師。

つくり込まれたパワーポイントや話術でどんどん引き込まれる。

「こうやって講義すると面白いんだ！」と教えてくれるようで、

毎回ベテランのすごみを感じる。

配布資料も丁寧で、今でもぼくの大変な宝物にしている。

ありがちな研修会では決して学べないようなマニアックかつ、

かゆい所まで手が届く内容。本当に現場を知っているからこそこの

リアルに活かせるテクニックの数々を学べる。

特に排泄ケアとレクが印象深く、

受講から数年経った今でも

おおいに活用させてもらっている。

介護老人保健施設
ケアセンターゆづりやう
安藤祐介

静岡県焼津市田尻4
Tel:054-625-0321
Fax:054-625-0322

【岡田慎一郎 氏】

古武術介護提唱者。

岡田氏の講座を受講するまでは

「相手をどう介護するか」を中心に考えていたけど、

「自分の体をどう使うか」という視点を教えてもらった。

自分の動きや姿勢を意識するようになってから、

介護だけでなく日常生活でも体の動かすのが快適になった。

いろいろな技術をもらったけど、特にいまでも重宝しているのが、

床に寝ている人を車いすに移動する技術や

ベッドに寝ている人の姿勢を上手に整えるための技術。

学ぶ前は重い人を2〜3人で介助していたが、

この技術を学んでからは要介護度が高い人や

体重が重い人でも、1人でヒョイヒョイ介助できるようになった。

介護へのさらなる自信をつけてくれた方。

人生観

介護観

【フランク・ハッチ 氏/レニー・マイエック 氏】

キネステティクス®創始者。

キネステティクス®とは「人の動きの学問」。

お2人が日本に来日される機会は限られており、お会いできれば幸運。

キネステティクス®のコースを受講すると、

介護の枠を超えて、ケアという次元を超えて、生きることそれ自体を学べる。

キネステティクス®を知る前のぼくは、

学ぶと思ったら何かを見たり聞いたりすることが多かったけど、

学びそのものの考えからガラリと変わった。

体で感じて理解していくことがこんなにも楽しくて感動するなんてこと、

それまで知らなかった。「いきる」「まなぶ」「わかる」という概念が一新される。

こうして言葉で伝えようと思うこと自体、かなり無理がある。

ぜひコースを受講して体で感じてほしい。

きっと「こういうことか！」と実感できるはず。

【ジュディス・ウィーバー 氏】

センサリアウェアネス講師。

ぼくはセンサリアのコースに参加すると「たいせつ」を感じる。

ジュディス氏は年に数回日本でワークを開いてくれる。

研修とか、勉強会だと思わない方がいい。

その空間は、わたしを見つめる場になる。

風を感じ、地を感じ、熱を感じ、人を感じ、

自分が静かに豊かに研ぎ澄まされていく。

なににも近いものはなく、でもその場は確かにある。

日常のように、ぼくにとっては限りなく非日常。まるで異空間。

そこだけが世界から取り残されたようで、実はなににも変わっていない。

つかんだと思ったら、きえている。でも、実は手のなかにあったりする。

よくわからないことしか言えなくて申し訳ないけど、こんな感じ。

キネステティクス以上に、語る言葉をぼくは見つけられない。

ただ、ぼくはこのワークショップが大好きだ。

「たいせつ」に出会いに、これからも足を運びつづけたい。

私を育ててくれた方々